

相模原看護専門学校令和4年度自己点検・自己評価及び 学校関係者評価の結果について

本校では、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に取り組むため、自己点検・自己評価及び学校関係者評価を行い、評価結果についてお知らせしています。令和4年度の評価結果がまとまりましたので、次のとおり報告します。

令和5年9月19日

公益財団法人 相模原健康福祉財団
相模原看護専門学校
校長 水澤 晴 代

1 自己点検・自己評価

(1) 評価方法等

令和4年度(令和4年4月～5年3月)の学校教育活動について、教職員による担当者評価及び自己点検・自己評価委員会により評価した。

(2) 担当者評価

令和5年1月～3月に実施

校長を含む全教職員、事務局長、事務次長

(3) 自己点検・自己評価委員会

開催日 令和5年4月19日、5月1日、6月8日、6月27日

出席者 校長、看護学科長、学科長補佐、事務局長、事務次長、参与

(4) 評価項目

本年度から従来の「看護師養成所の教育活動等に関する自己評価指針」における9カテゴリー・125項目を踏まえ、学校独自に設定した10区分・30項目により評価を行った。

(5) 評価基準

30項目について、次の4段階で評価

十分に満たしている：4 満たしている：3 改善の余地がある：2 改善が必要：1

2 学校関係者評価

(1) 評価方法等

学校関係者評価委員会を開催し、令和4年度自己点検・自己評価結果について事務局から説明し、委員から評価結果に対する意見や提言をいただいた。

(2) 学校関係者評価委員会

開催日等 令和5年7月18日 午後5時～6時45分 相模原看護専門学校で開催

出席者 評価委員(5名)

阿部 徳子 神奈川県看護協会相模原支部理事、相模原協同病院看護部長

大賀 秀一(副委員長) 相模原市医療政策課地域医療対策室長

小林 一裕(委員長) 相模原市病院協会看護部長会長、相模ヶ丘病院看護部長

篠崎 正義 相模原市医師会事務局長
森谷 光俊 相模原市病院協会理事、黒河内病院院長
事務局（5名）
校長、看護学科長、学科長補佐、事務局長、参与

3 評価結果

別紙のとおり

以 上

令和4年度自己点検・自己評価（総括）

令和4（2022）年度 自己点検・自己評価（総括表）

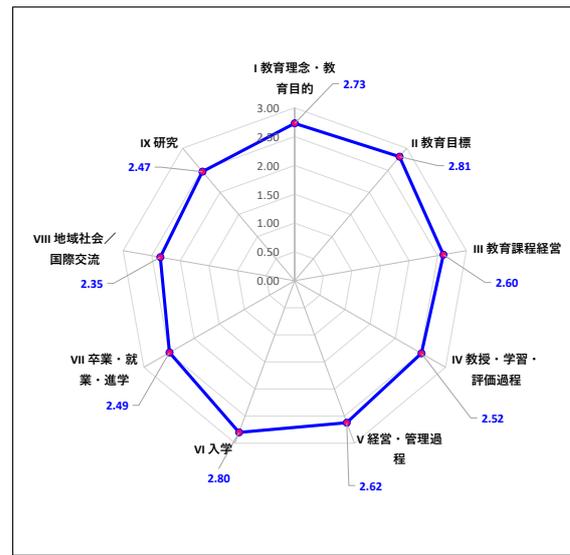
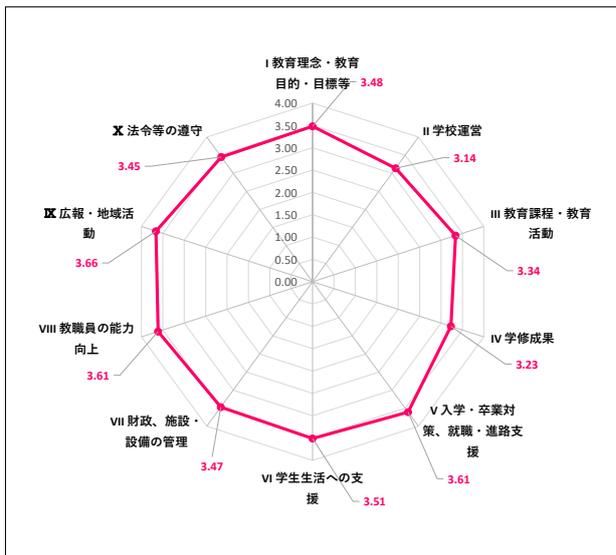
評価項目	平均値
I 教育理念・教育目的・目標等	3.48
II 学校運営	3.14
III 教育課程・教育活動	3.34
IV 学修成果	3.23
V 入学・卒業対策、就職・進路支援	3.61
VI 学生生活への支援	3.51
VII 財政、施設・設備の管理	3.47
VIII 教職員の能力向上	3.61
IX 広報・地域活動	3.66
X 法令等の遵守	3.45
平均	3.45

4	十分に満たしている
3	満たしている
2	改善の余地がある
1	改善が必要

令和3（2021）年度 自己点検・自己評価（総括表） 参考

評価項目	平均値
I 教育理念・教育目的	2.73
II 教育目標	2.81
III 教育課程経営	2.60
IV 教授・学習・評価過程	2.52
V 経営・管理過程	2.62
VI 入学	2.80
VII 卒業・就業・進学	2.49
VIII 地域社会／国際交流	2.35
IX 研究	2.47
平均	2.60

3	よく当てはまる
2	大体当てはまる
1	当てはまらない



自己点検・自己評価（総括）

卒業生数は74名、うち16回生は64名（入学者の80.0%）であった。看護師国家試験は74名中71名（95.9%）が合格した（3年度は74名卒業、全員合格）。市内就職率は74名中65名（87.8%）（昨年94.6%）であり、地域に貢献する看護師の育成という本校の理念・目的にかなっている。

一方、教職員による自己評価は、今年度から評価項目、評価基準、評価方法を変更し、評価項目は9区分125項目から10区分30項目へ整理し、評価基準は3段階から4段階へ変更した。また評価方法は、グループでの評価から全教職員個人で評価を行い、変更の経緯と内容については、会議で説明を行った。したがって、前年との比較は困難だが、採点平均は3.45（4点満点：86.3%）となった。3年度は2.60（3点満点：86.7%）であった。

自己評価の内訳は、全区分で3.0（満たしている）以上であるが、最も低い評価となったのは、II学校運営であり、「組織全体でチーム力を発揮した取り組みを行っている」が2.50であった。意思決定における情報共有の適時性が課題である。

評価全体に係る学校関係者評価委員からの意見（総括）

○学校運営におけるチーム力・組織力部分の評価が低く、情報共有や意思決定プロセスの明確化や、教員一人ひとりが教育目標に向けた思いを持ち、学生が効果的に学習できる環境づくりの構築を行っていただきたい。

r w α ¥

4	
3	
2	
1	



&! #

r w w		
1	Â5- [iÑC½‡žqq+ªT-èT-nTüØ " i[ĈÊÀÈËÏfÊŠS	3.68
2	qq+ªT-èT-nTüØ " i[T_±©"ċq°•Tz TñfÄ7ªiP"ËÏfÊŠS	3.27
		r 3.48

w μ
w t ± s s
w s w t w s s t s
w t s w t s s

w μ
w s ± t s s t s

r		
3	z'-qq+ªT-èT-nTüØ " i[Ñ²5~ÊžÀ-¥ª ÖÑ*Ê-ÏfÊŠS	3.55
4	Ž-zò!ö[[Ñ ø-žØŽÑªċÏfÊŠS	2.50
5	z'¥ª-t ċêBªªiËÏfÊŠS	3.36
		r 3.14

w μ
w s s s t w t s s s t t
w s s s t s s s t t
w t s t
w s t

w μ
w t s t s

r w		
6	s t	3.27
7	s w w w s t	3.41
8	t	3.27
9	w t	3.09
10	t	3.64
		r 3.34

w μ
w s s t s s
w s t t s
w s t s t s
w t s s s t s

w μ
w s s s t t

r		
11	t	3.32
12	\$ # # s t	3.14
13	t	3.23
		r 3.23

